

はかた中だより

第 5 号

令和4年6月9日

校訓 自らが学ぶ

学校の教育目標

豊かな心を持ち

主体的に行動する生徒の育成

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

令和4年度、今治・越智中学校総合体育大会が開催されました。

まず初めに、本校の選手は、誰一人欠けることなく大会に参加できたことを嬉しく思いました。新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者になってしまったり、けが等を負ってしまうと、大会に参加することが叶いません。特に、中学校生活最後の大会となる3年生が、そんなことになっては大変心配でした。この大会は、県大会、四国大会、全国大会へとつながる大変重要な大会でもあります。大会関係者の方々が、できる限りの感染症対策を行っていただき、全競技を無事終了できたことを、まずは感謝したいと思います。本校の選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮し、力の限り戦ってくれました。様々な競技で、感動的な場面を多く目にすることができ、選手の皆さんには感謝しかありません。本当によく頑張りました。お疲れ様でした。

1. 女子バスケットボール部の試合を振り返って

最も感動的だったのが、女子バスケットボール部の戦いぶりでした。1回戦、大西中学校に勝利した後の、2回戦、西中学校との試合を観戦しました。身長差のある相手チームに対して、粘り強いディフェンスや勇気あるドライブ・シュート、思いっきりの良い3点シュートで対抗し、試合は手に汗握る熱戦となりました。結果は、残念ながら、わずかに力及ばなかったのですが、選手たちの奮闘は、見る者全てに感動を与えてくれました。本当に素晴らしい試合でした。



2. 男子バスケットボール部の試合を振り返って



男子バスケットボール部は、選手全員が2年生です。3年生のような、「負ければ最後」というような緊張がなく、伸び伸びと試合をしていました。1回戦の近見中学校との試合を観戦しました。この試合では、試合中一度はリズムを崩し、思うようにプレーできなくなった選手が、気持ちを奮い立たせ、次々とドライブ・シュートを決め、チームの勝利に貢献したのが印象に残りました。この試合で勝利し、2回戦では、強豪の立花中学校に善戦しました。本校の親善大会や秋の新人戦が、今から楽しみです。

3. 軟式野球部の試合を振り返って

軟式野球部は、岩城中学校との合同チームです。両校の選手が共に力を合わせ、正々堂々と戦いました。1回戦の、近見中・玉川中の合同チームとの試合を観戦しました。本校の2人の投手が力投し、試合は1点を争う好ゲームとなりました。2点を追う最終回、岩城中の選手が起死回生の2塁打を打ち、その後、本校の選手がタイムリーヒットを打つなど、最後まであきらめず戦う姿勢が胸を打ちました。試合後は、好ゲームを展開した両チームに、惜しめない拍手が送られました。



| TEAM | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | R | H | E |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|
| 近見玉川 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 4 | |
| 岩城柏方 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | | | | | 3 | |

4. 女子卓球部の試合を振り返って

団体戦の1回戦と2回戦を観戦しました。1回戦では、粘り強い大三島中学校に見事勝利しました。この試合では、奇跡的な勝利が2試合ありました。2試合とも2人しかいない3年生がもたらした勝利です。卓球は、1セット11点マッチで、3セット先取した選手が勝利します。1つ目の勝利は、第1セットを失った第2セット2-9と追い込まれてからこのセットを奪い、勝利につなげた試合でした。2つめの勝利はセットカウント2-2で迎えた最終セット、0-7と追い込まれてから勝利した試合でした。どちらの試合も「最後まで決してあきらめない」という3年生の強い気持ちを見せてもらい、胸が熱くなりました。



5. 男女ソフトテニス部の試合を振り返って

前日行われた団体戦は、残念ながら観戦することはできなかったのですが、男子は1回戦大島中学校に勝利し、強豪立花中学校に1ペア勝利するなど善戦していました。女子も、1回戦は弓削中学校に勝利し、優勝した北郷中学校に1ペア勝つなど善戦していました。翌日行われた個人戦を観戦しました。男子は4ペア、女子は3ペアが出場したのですが、どのペアも緊張からか気合が空回りし、思うようにプレーすることができていないように感じました。感染症対策がなければ、大きな声で精いっぱい応援がしたいと強く思いました。しかし、男子も女子も大会が終了した翌日から練習していました。ある選手は、今月26日(日)にある、「伯方カップ」に出場し、悔いの残らない試合をしたいと決意を述べました。またある選手は、「高校に進学してテニスを続けます」と宣言していました。選手たちの今後の活躍を心より祈ります。



6. 女子剣道部の試合を振り返って

女子剣道部の試合を見て、「練習はうそをつかない」という言葉を思い出しました。また、「勝負は一瞬の業 鍛錬は千日の業」という言葉もうなずけました。初日の個人戦の試合を観戦しました。3人の選手が出場したのですが、3人とも見事な戦いぶりでした。気合鋭い打ち込みでは、剣先の速さ、残身の美しさ、一本が決まるたびにため息がもれました。結果、1位~3位を独占し、全員が県大会出場を果たしました。翌日の団体戦は観戦することが叶いませんでしたが、予想通り3人での優勝を勝ち取りました。県大会での活躍を祈ります。心から応援しています。

